（1）　明治20年創刊　第44070号　（明治25年3月28日第三種郵便物承認）　THE JOMO SHINBUN　2018年（平成30年）2月22日（木曜日）（日刊）

日本金

佐藤（高崎健大）県勢24年ぶりメダル

土屋（メモリード）出場 男子5位

平昌 PyeongChang 2018

スピードスケート女子団体追い抜きで金メダルを獲得し、喜ぶ（左から）菊池、佐藤、高木菜、高木美＝江陵（共同）

女子団体追い抜き

【平昌共同】平昌冬季五輪第13日の21日、スピードスケート女子団体追い抜き決勝で、日本は高木美帆（23）＝日体大助手、高木菜那（25）＝日本電産サンキョー、県勢の佐藤綾乃（21）＝高崎健康福祉大＝の布陣で2分53秒89の五輪新記録をマークしてオランダを破り、金メダルを獲得した。冬季五輪での県勢のメダルは1994年リレハンメルのノルディックスキー複合団体で荻原健司が獲得した金メダル以来24年ぶりで、女子では初めて。

日本のメダルは11個で、98年長野五輪を上回り冬季大会最多となった。今大会の日本の「金」は3個、通算では13個。

団体追い抜きで県勢の土屋輔（23）＝メモリード・嬬恋高出身＝が出場した日本男子は5位だった。

高木美は1500㍍が2位、1000㍍が3位で金、銀、銅のメダルを得た。長野五輪で金2、銀1を手にしたスキー・ジャンプの船木和喜に次いで、冬季五輪の1大会で三つのメダルを獲得した2人目の日本選手となった。男子で日本は5位だった。

フィギュアスケートは女子ショートプログラム（SP）が行われ、宮原知子（19）＝関大＝は4位、坂本花織（17）＝シスメックス＝は5位で23日のフリーに進んだ。「ロシアから五輪選手（OAR）」として出場した15歳のアリーナ・ザギトワが世界歴代最高を更新する82・92点でトップ、世界選手権2連覇中のエフゲニア・メドベージェワが2位につけた。

カーリングは男女の1次リーグ最終戦が行われ、LS北見の日本はスイスに敗れたが、米国がスウェーデンに敗れたため4位となり、男女を通じて日本勢初の4強入りを決めた。男子は5位だった。

男子団体追い抜き5、6位決定戦　滑走する（左から）土屋、ウイリアムソン、一戸＝江陵（共同）

日本のメダル数（第13日まで）
金 3
銀 5
銅 3

先輩たちに感謝

佐藤綾乃の話　今までに感じたことのない緊張を味わった。今回のレースに対して不安や恐怖の気持ちがものすごく大きかった。最後のあと1周でまた転びそうになって自分自身は後悔しているが、この先輩たちのおかげで五輪新記録の結果に至った。一緒にやってきた先輩たちに感謝の気持ちでいっぱい。

さらなる活躍期待

大沢正明知事の話　快挙を成し遂げた佐藤綾乃選手に心からお祝い申し上げる。気迫あふれる力強い滑りで堂々と戦い抜く姿に勇気づけられ、深く感動した。県民の誇りであり、さらなる活躍を期待しています。

関連記事 19、21、23面

上毛新聞
2月22日
木曜日　先勝
発行所（〒371-8666）前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
（総合）027-254-9911
（編集）027-254-9933
（広告）027-254-9944
（販売）027-254-3131
（事業）027-254-9955
© 上毛新聞社　2018年

冬の朝ねむ気と毎日戦ってる

（伊勢崎豊受小5年　斉藤　里緒）

☆冬の朝は暖かな布団の中から出たくないですし、起きてもまだまだ眠たいです。眠気と戦いながら、今日も学校へ行きます。（左）

きょうの紙面

育英サッカー 県民栄誉賞

19　第96回全国高校サッカー選手権大会で4093校の頂点に立った前橋育英高サッカー部に県民栄誉賞を贈る顕彰式が21日、県庁で開かれた。大沢正明知事が山田耕介監督に顕彰状を手渡し、悲願の県勢初優勝をたたえた。

裁量制、高プロ1年延期へ（2）
金子兜太さん死去（3、18）
扶養手当の格差は「違法」（3）
北朝鮮、米朝会談直前に中止（4）
悪臭改善へ冬期断水解除（18）
16面に主要事業一覧

富岡市予算案

製糸場の防災強化

七日市駅前広場を整備

富岡市の岩井賢太郎市長は21日、総額238億1千万円となる2018年度一般会計当初予算案を発表した。新庁舎整備が一段落する影響で前年度比8・9%減と4年ぶりの減額となるが、規模は過去2番目。世界遺産、富岡製糸場の総合防災工事や道の駅新設などが、市民や観光客が安心して暮らし、訪れられるようなまちづくりを進める。

製糸場の第1期総合防災整備工事（18～20年度）として1億5400万円を計上した。史跡範囲外の製糸場周辺に巨大な地下貯水槽とポンプ室を設置し、場内に消火栓を設ける。国が50%、県が25%を補助し、20年東京五輪前の完成を目指す。

上信越道沿いにある中高瀬観音山遺跡周辺の道の駅整備事業は、基本計画策定費として3800万円を盛り込み、21年度以降の供用開始を見込む。

上信電鉄上州七日市駅の周辺整備に1億2千万円を投入し、駅前広場や歩道を設ける。市民の健康増進のため、もみじ平総合八園内にクロスカントリーコース2・5㌔を2年計画で新設。英語教育強化に、海外からの英語教師2人をモデル校に配置する。

岩井市長は記者会見で「人口減少の中、新たな価値を生み出し、まちの魅力を高め、活気に満ちたまちをつくりあげていきたい」と強調した。

議員なり手不足解消へ要望決議

県町村議会議長会

全国的に問題化している議員のなり手不足解消に向け、県町村議会議長会（会長・仲沢太郎上野村議長）は21日、前橋市内で開いた定期総会で、会社員が議員活動をする際の休暇、休職制度創設などを求める政府への要望事項を決議した。

県内きょうの天気

カー&ドライブ情報

冬の朝ねむ気と毎日戦ってる

「お昼は？」。今月5日に89歳でこなった県立くまた文谷の初代台長、古在由秀さんはその日の昼食をよく尋ねてきたという。美食家ではなかったが、食べ物が確保されていないと落ち着かなかったらしい▼天体力学の世界的な権威で東京・国立の両天文台長、日本人初の国際天文学連合会長を歴任した小2の時に父が倒れ、亡くなるまで10年病床にあった。若いころ食料に苦労した体験がお昼は？につながったのだろう▼戦後間もないころに天文学の教育を受けた。貧しい時代だったが、米国の支援もあって研究を進めた。当時の論文で示した惑星の軌道や形状に関する「古在効果」は今もたびたび引用される▼ぐんま天文台研究員の橋本修さんは、古在さんの功績の一つに国際貢献と若手育成を挙げる。金品を提供するのではなく人を育てることが、米国への「恩返し」になるとの思いからだとする▼同天文台は1999年の設立からしばらくの間、近くに滞在型の施設を持ち、東南アジアなどから多くの研究者が訪れ、それぞれの国に還元した▼天文台が備える口径150㌢の規模を誇る。2012年に台長を退いてからも「ぐんま」の在り方を気にかけていたという。最先端の研究推進はもちろん、国際貢献と若手育成への強い思いをつないでいってほしい。

2018.2.22

行政手続のご相談は行政書士へ
2月22日は、行政書士記念日です。
群馬県行政書士会
TEL.027-224-3877(代)

パソコンで投・開票速報

1987(昭和62)年2月22日付

統一地方選の第一弾である県議選は四月三日告示、十二日投票の日程で行われるが、県選挙管理委員会（太原順三委員長）は、今県議選からパソコンによる投票・開票速報システムを導入することになった。

より速く、正確に―。開票作業の迅速化を図るため、約30年前の県議選でパソコン入力による開票速報が始まった。表計算ソフトをベースにしたシステムで、データ入力すれば投票率や男女、郡市別の投票者数などを計算できる。それまでは各郡市から電話で届く数字を県職員が所定用紙に書き込み、電卓を使って人海戦術で計算していたという。

創刊130周年 上毛新聞プレーバック

紹介された記事が掲載された紙面は、こちらよりご覧いただけます。「創刊130周年上毛新聞プレーバック」https://www.jomo-news.co.jp/playback/

TOEIC® L&R TEST 英単語スピードマスター
涼温な家
海外から続々オファー キリスト教圏も熱い 生まれ変わりの村4
舌がヒリヒリ、口も渇く！これで治せ
便秘症状でおならがよく出る 悩みこれで解決
脳梗塞・脳出血後遺症が見違えるほど回復した！
腰を立て直すだけでも坐骨神経痛のつらさこれで解消
がんを小さくしていく 正しい知識と向き合い方
がんを再発・転移させない グルカンの免疫活性力が鍵！
耳は1分でよくなる！
この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。